

令和5年度第2回「健康くるめ21」計画推進協議会 質問・意見等一覧

[書面協議期間：令和5年8月9日（水）～令和5年8月16日（水）]

(1) 第3期健康くるめ21計画骨子（案）について

質問・意見等	事務局回答
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点課題・目標・取組の設定について、取組の重点を糖尿病など生活習慣病に設定したことは妥当と考えます。 	<p>—</p>
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> P12「個人の行動と健康状態の改善」の「②身体活動・運動」の評価指標である歩数や運動の数値は目標値を指示しなければ市民には伝わらないのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各目標、評価指標の具体的な目標値については、計画（案）においてお示ししたいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量の低下は、筋肉の減少、糖尿、言語機能の悪化や認知機能にまで影響するのではないのでしょうか。もっと積極的な施策を講じていく必要があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、運動習慣は、身体機能だけではなく認知機能等の維持向上にも繋がるものと考えております。 次期計画では、重点取組として運動習慣をはじめ生活習慣全般の改善に向けて、「個人の健康状態の見える化や健康づくりの支援強化」に取り組みたいと考えておりますので、今後、計画（案）を作成していく中で、検討したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点課題・取組として、高血圧の重症化予防をいれてはどうでしょうか。慢性腎不全による透析導入の原因疾患は糖尿病性腎症が第1位ですが、腎硬化症による慢性腎不全が増加傾向にあります。腎硬化症の原因は加齢に伴う動脈硬化で、高齢化が進むと、腎硬化症による透析導入例が増えることが予測されます。 この進行を抑制するには血圧を正常に保つことがとても重要です。 本計画は12年間の計画にもなるため、高血圧の重症化予防に取り組む必要があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期計画では、重点取組・課題を設定し、計画の実効性を高めることを目指しており、重点取組等の設定については、計画の中間評価時点を区切りとして「前期期間」、「後期期間」に区分して取組項目等を見直すことを想定しています。 前期期間については、本市の現状や課題を踏まえ、「糖尿病の発症予防・重症化予防」を重点取組に取挙げておりますが、ご意見の「高血圧の重症化予防」については、中間評価を踏まえた重点課題等の見直し時に検討したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点課題・取組として、高齢者の認知症やフレイル対策を盛り込んではどうでしょうか。健康寿命の延伸に向けては、要介護状態の原因となる疾病や状態を予防、改善することが目標達成につながると考えます。 要介護要因の現状は、第1位認知症、第2位脳血管疾患、第3位フレイルとなっており、重点取組として認知症やフレイル対策に触れておいた方が良いと考えます。 また、生活機能の維持・向上にかかる取組項目として、③項目目にフレイル予防（心身両面の健康が含まれます）を入れても良いと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症やフレイル予防については、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画において、より詳細な取組等を定めて、取り組んでいます。 しかし、次期計画においては、個人の健康状態の改善、ライフコースアプローチを意識した健康づくりといった観点から、高齢期における課題に対応した目標や取組等を設定する必要があり、ご意見を踏まえ、今後、計画（案）を作成していく中で、検討したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労者は、お弁当サービスを利用している人も多いと思います。そこで、現在飲食店を中心に行われている健康づくり応援店を、お弁当サービスや給食施設などに広げるとともに、健康づくり応援店と市が協働して健康づくりに関する情報発信ができると良いのではと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり応援店には、飲食店のほか、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、惣菜屋、社員食堂などもご登録いただいております。 ご意見を踏まえ、働き盛り世代によりアプローチしやすい取組等について、今後、計画（案）を作成していく中で、検討したいと考えております。

質問・意見等	事務局回答
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10P、18Pの「栄養・食」という表現を「栄養・食生活」に修正してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の頁と表現が統一していませんでしたので、「栄養・食生活」に統一させていただきます。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「栄養・食生活」の評価指標等に関して、肥満傾向児のみではなく、やせ傾向児についても設定してはどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見の「やせ傾向児」についても、健康面の課題と認識していますが、学齢期における肥満が将来の生活習慣病発症リスクを高める要因であることに着目し、かつ、ライフコースアプローチを意識したものとして、次期計画では、まずは、肥満傾向児にかかる目標等を設定したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「休養・睡眠」の評価指標等に関して、子ども（幼少期・学齢期）にかかるものを設定してはどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの「休養・睡眠」は重要ですが、幼少期・学齢期のデータを収集することが難しいため、指標として設定することは難しいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども」の健康は保護者の健康的な生活及び意識によってつくられるものであるため、「働き盛り世代」と切り離しては考えにくいと思います。育児で自分の健康づくりに費やす時間が十分にとれないと結論づけるのではなく、家庭が健康を意識することがどの世代も健康であることにつながるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画では、各世代等の健康課題を明示し、「自分が、今、何に取り組むべきか」を明らかにするため、ライフコースアプローチを意識した健康づくりを進めたいと考えています。 ・ このライフコースアプローチは、各ライフステージを切り分けて健康状態の改善を目指すのではなく、健康づくりの連続性を意識した取組を意図しているものになります。 ・ 個人単位であれば、「子ども」時代の健康意識や状態が「働き盛り世代」になった時の健康意識や状態に繋がりますが、「働き盛り世代」については、子どもを産み育てる世代でもあるため、その健康状態や意識は次世代の健康にも繋がると考えています。 ・ ご意見を踏まえ、次世代の健康を意識した「働き盛り世代」への取組等については、計画（案）の作成の中で検討したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P11の重点取組にかかる2つの評価指標は妥当と考えますが、補助指標のうち「ダウンロード数等」は、健康寿命の延びを期待する主な対象である後期高齢者の割合が増加していく中で、デジタル機器の操作が不得意な層の効果測定が適切に行えないのではないのでしょうか。聞き取り調査等による補足測定も考慮されたらどうでしょうか。 ・ また、補助指標にある「地域健康づくり目標の設定校区数」は、全校区のアンケートや行事出席者数の調査を行った方が、効果測定出来るのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動習慣とバランスの取れた食事に関する2つの評価指標については、アンケート調査による数値把握を予定しており、補助指標については、重点取組の各事業の成果を把握するものと考えています。例えば、アプリケーションの整備は、その「ダウンロード数」を指標に設定し、効果測定することを想定しておりますが、デジタル化の進展による高齢者の情報格差は課題であり、健康づくりにおけるデジタル機器の活用にあたっては、機器操作方法の分かりやすい発信などの支援に取り組んでいきたいと考えております。 ・ 指標の設定にあたっては、ご意見を踏まえ、適切な取組状況の効果検証に繋がるようなものとなるよう、計画（案）の作成の中で検討したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の実施結果を端的に数値で表すことが可能な方向へ結び付けてもらいたい。文言では理解出来ても絵にかいた餅とならないことを願います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組の成果を測ることは重要であり、各目標については、具体的な数値目標を設定し、適切な進捗管理を行いたいと考えております。これら数値目標の具体的な案については、計画（案）においてお示ししたいと考えております。

質問・意見等	事務局回答
<p>【質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 9「社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上」の部分に掲げられている『①社会参加しやすい環境整備』及び『②メンタルヘルスに問題を抱えている人の支援環境整備』の具体的な内容を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『①社会参加しやすい環境整備』については、主な施策として、「地域や職域と連携した就労、ボランティア、通いの場等の居場所づくりなど、市民が社会参加できる機会の拡大に向けた取組の推進」を考えております。 ・ 『②メンタルヘルスに問題を抱えている人の支援環境整備』については、主な施策として、「地域や職域と連携したメンタルヘルス対策の推進、メンタルヘルスに問題を抱えている人の支援環境整備」を考えております。 ・ 次期計画における具体的な取組については、計画（案）においてお示ししたいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病の発症予防・重症化予防に向けた保健事業を重点的に強化している点は、とても良いと思います。対象者にしっかりと行きわたるように取り組んでほしいと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病の発症予防・重症化予防に向けた重点取組については、対象者にしっかりアプローチをしたいと考えております。さらに、各事業の成果を把握するために補助指標を設定することで、事業効果を適切に検証したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康意識の高い人は、すでに自分の健康状態をしっかり把握しています。そうではない人に対して、まず意識作りから始めるべきだと考えます。久留米市がこのような健康づくりに取り組んでいることすら知らない人が多いと思います。健康を意識していない人たちへの啓発をどのようにするかだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画においては、健康無関心層も含めた健康づくりをさらに推進していく必要があると考えております。ご意見を踏まえ、PHRを活用した個人の健康状態や健康リスクの可視化など、市民の健康意識向上に向けた環境整備と普及啓発の強化等に取り組んでいきたいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 4 の健康寿命と平均寿命の推移について、本市の健康寿命や平均寿命の伸びやその比較差は必要でしょうか。健康寿命や平均寿命の全国や都道府県数値データと比較することの方が、参考になると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康寿命と平均寿命の伸びやその比較差については、計画の基本目標の達成状況や本市の現状を検証するために必要だと考えております。 ・ ご意見のとおり、本市の現状把握のため、国や都道府県の状況との比較分析し、計画（案）でお示ししたいと考えております。
<p>【質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 7 において、個人の健康記録である PHR を活用し、健康情報を入手・管理できる環境の整備に取り組むとありますが、PHR は非常に重要な個人情報であり、プラットフォーム作りは高いセキュリティが求められます。今後、（今話題となっている）マイナンバーカードとの紐付けなどの活用方法が考えられますが、非常に難しい問題だと考えます。具体案が何かありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーに紐づけられた PHR の管理基盤については、国において整備が進められています。本市においては、国が整備するセキュリティが確保された基盤を、定められたルールのもとで利用することで、PHR などの健康情報を取得・管理しながら、市民一人ひとりの健康状態や健康リスクの見える化を推進したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標の健康寿命の延伸に関して、健康寿命の延伸を目指すことは非自立者（要介護 2 以上の人）を減らすことになるとは思います。年毎に非自立者の人数や割合等を提示すると、なお分かりやすくなると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見を踏まえ、非自立者（要介護 2 以上の人）の状況の詳細について、計画（案）においてデータを整理したいと考えております。

2) 市民の自主的な健康づくりを促進していくために必要なことについて

質問・意見等	事務局回答
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病など生活習慣病は、ほとんどの問題が小児期からの不適切な習慣に起因するものです。貧困家庭の増加、子どもの生活習慣の課題が多く、これまでの啓発活動だけでは、改善は厳しいと思います。 ・ ヘルススーパービジョン、すなわち生まれてから思春期～成人に至るまでの健康増進や疾病予防(メンタルヘルス含む)を久留米市、久留米大学、医師会と協働して進めていくことが重要です。3歳で終わっている乳幼児健診では全く不十分で、4歳以降の健診の中で健康づくりや疾病予防をしていきます。アメリカでは Bright Futures という取組が行われていて思春期健診含め21歳になるまで年に1回の小児科での健診(一人30分)がされています。良い食事、運動、睡眠の重要性、ゲームなどメディアとの付き合い方、メンタルヘルス、性に関する相談など行っています。久留米大学小児科は、思春期健診を全国に先駆けて実施し、健康教育にスマホアプリを開発しました(久留米高専と共同で)。子どもの睡眠についても教育に力を入れていますが、睡眠障害は増えていると感じます。肥満児の家庭環境は悪いことが多く、教育入院させても継続が困難です。家族全体への支援を要します。 ・ 睡眠のモニタリングも東大上田教授(附設高校出身)らとのつながりも強く、市をあげて睡眠改善運動が可能だと思います。PHRの利用もすでに認知症等で久留米大学精神科で実績とノウハウがあります。 ・ 思い切ったことをしていかないと改善が望めないと考えます。それができる基盤が久留米にはあるのでぜひご検討をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活習慣病は小児期からの不適切な習慣に起因したものも多く、健康づくりの連続性や経時性を意識した取組(ライフコースアプローチ)が重要だと考えております。次期計画では、現行計画と比較して、学齢期における健康づくりの目標(評価指標)を掲げ、ライフコースアプローチを意識して取組を推進することを考えております。 ・ ご意見いただいた思春期～成人における健康づくり支援については、研究したいと考えております。 ・ また、ご意見のとおり、久留米市には市民の健康づくりを推進するための充実した基盤(医療機関や教育研究機関等)がありますので、計画(案)の作成に向けて、様々な関係機関・団体との意見交換をさせていただきたいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動で危険な気温、豪雨災害も発生している中、子どもや高齢者、若年者も含めてどのように運動させるのがよいのでしょうか。現実として、高齢者や若年者の運動習慣は2極化しており、全くやらない者と過剰にやる者との差が激しく、運動しない人をどのように運動させていくのかが一番難しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、運動習慣がない人に運動させることは大変難しいことだと考えており、これは他の生活習慣全般にも言えることで、無関心層の健康づくりをどのように推進するかという課題だと捉えています。 ・ これらについては、自身の健康リスクの適切な把握を促し、動機付けも行っていきながら、一人ひとりの健康意識を向上させていくことが大切で、そのための取組として、次期計画では健康状態の見える化などにしっかりと取り組みたいと考えております。

質問・意見等	事務局回答
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科検診、特に「はっぴー検診（歯周病検診）」の受診勧奨、普及、啓発をもう少し強化しないといけないと思います。歯科医師会の健康フェスタで、今年から歯科ブースを受け持ちますので、その際に啓発したいと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、成人を対象とした歯科検診については受診率が低迷していますので、歯科医師会と連携・協働しながら、さらなる普及啓発に努めたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民一人ひとりが「健康は守るもの」から「健康はつくるもの」へと発想を転換してもらえよう、守る生活ではなく、つくる生活の仕方、例えば食生活、運動、飲酒、喫煙、ストレスといった生活習慣の改善や健康づくりに対する意識を高めることを目的とし、各地域にある公民館やコミュニティセンター等を利用し、高齢になっても生き生きとした生活続けるために地域活動へ参加するなど、外出の機会を増やすことが大切ではないかと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、高齢期における社会参加は健康維持・増進に重要な要素だと考えております。 ・ 計画（案）の作成に向けて、研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康維持、病気にならない、元気に長生きするために必要なことについて、正確な知識でわかりやすく発信する機会を多く持ち、根気強く続けることが大切だと考えます。 ・ 特に若年層は、健康に関する興味が低いので、特別なアプローチが必要になると思います。 ・ 健康状態の見える化では、自分の健康状態から、将来どんな病気になる可能性があるか確率などを示し、生活習慣を改善すると、その確率をどの程度低下させることができるか示せれば、若い人でも行動変容が期待できると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画では、健康状態の見える化を図り、個人の健康状態に対応した動機付け支援対策の強化に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご意見を踏まえ、計画（案）の作成に向けて検討したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の健康づくり意識の向上に向けて、コロナ禍で活動を行いにくい中でも健康づくりにそれぞれの立場で取り組んでいた、また、現在取り組んでいる久留米市の人材や社会資源に脚光を当て、その活動や人を紹介し、表彰する機会を校区単位や市単位で行っていくことが大切だと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の健康づくり意識の向上に向けて、地域や職域などで、個人や団体が実際に健康づくり活動に取り組んでいただくことは、個人の健康を支える環境整備において重要なことであり、ご意見を踏まえ、今後、研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「第3期健康くるめ21」に基づいた、①更なる情報発信、②市民が日常生活の中で実践できる内容の提示、③市民参加型の健康イベント開催（情報発信含む）が必要だと考えます。 ・ 第3期の計画ならではの新しい企画を検討していく必要があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりについて、市民に知っていただき、実践していただくことが非常に重要だと考えておりますので、ご意見を踏まえ、今後、研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組内容の広報が必要だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、行政、地域、職域等による健康づくりの取組を市民にしっかりと伝えていくことは重要だと考えておりますので、今後とも様々な広報媒体を活用し、市民に分かりやすく伝わるように努めたいと考えております。

質問・意見等	事務局回答
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナを経て、「集団で取り組む必要性」について、再考するときがきていると思います。自治会・子ども会などのコミュニティに属さなくてもできる健康づくりがあればと思います。久留米市公式LINE等、ICTの活用で個人として取り組める策があればいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、集団に対する取組に加え、市民一人ひとりの健康増進を図るためには、より個人の適性や状態に応じた取組も重要だと考えておりますので、次期計画では、個人の健康づくりを支援する取組として、ICT（スマホアプリなど）の活用などを検討しています。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食生活、睡眠など生活の中で子どもにとって特に大切にしたい質は、保護者の意識や生活スタイルで変わってきます。学齢期の運動習慣、肥満の減少のためには、夜間や放課後の運動クラブよりはむしろ食生活（きちんと3食とれているか）や生活習慣（早寝早起き）の家庭への意識づけが必要だと思います。歯や心の健康もしくりで、妊娠の時から産婦人科や市の訪問などを通じた学びや、もっと積極的な学齢期から年代に応じた教育（食など生活習慣について）が必要ではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、「子ども」の生活習慣は、家庭をはじめ「子ども」を取り巻く環境の影響を受けやすいものと考えておりますので、引き続き、家庭、地域、学校などと連携しながら、「子ども」の生活習慣改善に向けた取組を研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の健康のびのびポイントアプリ活用と校区との連携が必要だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、「くるめ健康のびのびポイントアプリ」の更なる活用と地域等と連携した取組を推進していく必要があると考えております。 これまでも「くるめ健康のびのびポイントアプリ」の活用に向けて、取り組んでまいりましたが、引き続き、市民に活用いただけるよう努めていきたいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人へのアプローチだけでは、健康づくりへの行動に繋がっていくには限界があると思います。交流の機会や居場所づくりは、健康づくりのきっかけを作るアプローチであって、継続へと続くツールとなります。個々のつながりが強い都市部と地域とのつながりが濃密な農村部との違いも想定し、これらの取組をスタートさせる仕組みを検討されてはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、個人へのアプローチだけでは健康づくりの推進には限界があり、個人を支える環境整備として社会参加の機会創出などは重要な取組だと考えておりますので、計画（案）の作成に向けて、地域性などの要素も捉えながら、できる限り多様なアプローチ方法を研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもに対しては、どこにも通所しない（幼稚園・保育園・認定こども園）子どもの家庭の見守り強化が必要であると考えます。 働き盛り世代に対しては、色々な健診が準備されていますが、個人的な受診も含め、受診しにくい時間帯です。土・日・勤務後に受診できるともう少し健康維持につながるのではないかと考えます。 高齢者に対しては、80歳以上の方の居場所、又は行く所が少ないです。いきいきサロン等の充実感がないように思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、各世代での健康課題や求められる取組は様々だと考えており、次期計画では、ライフコースアプローチを意識した健康づくりを推進するため、各世代の目標や取組等を整理する方針です。これらの整理を進める中で、ご意見を踏まえ、研究したいと考えております。

質問・意見等	事務局回答
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝気持ちよく起き、朝一のラジオ体操で心身をリフレッシュすることが健康に繋がると考えます。 ・ 次期計画の「社会環境の質の向上」⇒「健康づくりのための環境整備」の中に 『47校区でのラジオ体操実施参加者数の増加』を評価指標として入れてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、ラジオ体操は市民が気軽に取り組める運動だと考えており、本市でも地域等でのラジオ体操の推進に取り組んでいます。 ・ ラジオ体操の実施状況について、評価指標として設定することは難しいと考えておりますが、ラジオ体操の推進にかかる取組については、ご意見を踏まえ、計画（案）の作成に向けて研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者、子ども世代に対しては、学校や子育てサークルの内部に入りながら、活動できるように行政と連携することが必要だと考えます。 ・ 働き世代に対しては、職域訪問でセミナーあるいは調理などを積極的に実施できる体制を整えることが大切だと考えます。 ・ シニア世代には、1つの団体に対するアプローチでは難しいので、2～3つの様々な団体を1つにまとめてアプローチできるとよいと考えます。そして、団体の中心である女性に働きかけながら、食生活改善推進協議会の仲間づくりが出来るとよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、行政、地域、職域、健康づくりの関連団体が連携協働しながら、各取組を推進していくということは重要であると考えておりますので、このような視点をもって、計画（案）の作成に向けて、各取組について研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもへの健康づくりを家庭に任せることが困難な家庭も多くなってきているので、学童については学校での指導を強化する必要があると考えます。 ・ 働き盛り世代は余裕がないので、どの職場でも必ず健康診断を受けられる環境づくりが大切だと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、各世代での健康課題や求められる取組は様々だと考えており、次期計画では、子ども、働き盛り世代などの各世代の健康づくりの目標や取組等を掲げ、ライフコースアプローチを意識した健康づくりを推進していきたいと考えております ・ ご意見の視点を踏まえ、計画（案）の作成に向けて、研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な歯科検診は予防において有効なので、歯科医院に全く行かない人に対して無料検診券を発行し、それをきっかけに定期健診を勧めることが必要だと考えます。（全く受診しない人は症状が悪くならないと受診しないので、きっかけが必要かと思います。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見のとおり、定期的な歯科検診による歯・口腔の健康維持は重要だと考えており、本市では、成人対象の歯科検診について対象年齢の方に個別案内のうえ実施しています。 ・ 定期的な歯科検診を促すためにも、これらの歯科検診の受診率向上に向けた取組を推進する必要がありますので、ご意見を踏まえ、受診率向上に向けて検討したいと考えております。

質問・意見等	事務局回答
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組として、地域でのラジオ体操をもっと普及させたらよいと思います。すでに実施している校区をモデルにして、全校区で取り組んではどうでしょうか。会場が校区にあれば、そこまでウォーキングができる、夏休みは子どもも参加でき、運動不足の一助にまた毎日顔を合わせることで社会とのつながりの向上に繋がります。市民の健康づくりとしては、ラジオ体操が最も有効だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、ラジオ体操は市民が気軽に取り組める運動だと考えており、本市でも地域等でのラジオ体操の推進に取り組んでいます。ご意見を踏まえ、ラジオ体操の推進にかかる取組について、計画（案）作成に向けて研究したいと考えております。
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的な健康づくり推進の一環として、手軽にできるラジオ体操を推奨します。 10数年間継続してラジオ体操を実践してきた者として、健康の維持増進による生活習慣病の予防、コミュニケーション増加での心身の安定、健康寿命の延伸がしっかりと効果が出ています。前期重点取組同様に具体的な推進計画をもって取り組む必要があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、ラジオ体操は市民が気軽に取り組める運動だと考えており、本市でも地域等でのラジオ体操の推進に取り組んでいます。ご意見を踏まえ、ラジオ体操の推進にかかる取組について、計画（案）作成に向けて研究したいと考えております。